

UKロードマット

貼り付け型路面クラック補修材

NETIS登録番号 KK-190032-A

はく離紙をはがして

貼るだけ!!



荷姿／			
3mm厚タイプ	縦500mm×長さ2,000mm×厚3mm	4枚入り/箱	
5mm厚タイプ	縦500mm×横500mm×厚5mm	4枚入り/箱	
10mm厚タイプ	縦500mm×横500mm×厚10mm	4枚入り/箱	

用途 01 ひび割れへの雨水の浸入を防ぎます!
亀甲状クラック損傷拡大抑制

用途 02 穴埋めした常温合材等の飛散を防ぎます!
ポットホール補修箇所飛散防止

用途 03 構造物と舗装の薄い段差を補正します!
薄層路面段差修正

用途 04 滑りやすい路面に貼り付けてスリップを解消します!
鉄板、コンクリート面の滑り止め

強力な自着層で貼り付けるため、
プライマー塗布の手間と時間が掛かりません!!

<お問い合わせ窓口>

- 東京支店 TEL.042-646-4600 FAX.042-646-0560
- 東北支店 TEL.019-639-9200 FAX.019-639-6071
- 大阪支店 TEL.072-883-5151 FAX.072-884-3953
- 中部営業所 TEL.052-875-8515 FAX.052-875-8500
- 広島営業所 TEL.082-239-5500 FAX.082-239-5501
- 九州支店 TEL.092-504-1335 FAX.092-504-1336



株式会社 ホーシン

〒571-0017 大阪府門真市四宮 3-10-34 TEL.072-885-5433 FAX.072-884-3953

UKロードマットの概要

UKロードマットは、改質アスファルトシートと合成繊維不織布シートを組み合わせた素材の表面に滑り止めの鉱物質粉粒、裏面に自着層の特殊ゴム化アスファルトを施した路面貼り付け型のマット状材料である。

UKロードマット(5mm厚、10mm厚)は、線路枕木下のぐり石と下層路盤の境界に設置して、線路・枕木・ぐり石を一体として安定させると共に土壌からの地下水の浸入を防ぐ目的で使用されている強靱な素材を主体とする。

UKロードマット(3mm厚)は、より柔軟性に富む素材を主体とし、通行車両の荷重で時間経過と共に路面にすりついて一体となる。

防水性及び下地追従性に優れ、路面損傷の進行を抑えて道路寿命を延長する。

UKロードマット(5mm厚)の貼付手順

1 路面清掃



補修箇所を送風機、箒などで清掃し、埃や砂利を取り除く。路面がぬれている場合は乾燥させてから作業を行う。

2 はく離紙除去



マット裏面のはく離紙を四角の角からつまみ上げて、斜め方向にマットと平行に引っ張る。夏季に粘着が強い時は、コールドスプレーや凍らせたペットボトルで冷やす。

3 路面貼付



路面貼付位置にマットの角から一辺を合わせて貼り、マットを押さえながら徐々に剥離紙を斜め方向にはがしていく。

4 マット圧着



路面貼付後、丁寧に足踏みするか、手押しローラ、タンパ、木槌などでマット表面に満遍なく圧力を加え路面と密着させる。

UKロードマット主要素材の物性

宇部興産建材(株)
物性証明書より引用

項目		UKロードマット5mm・10mm		UKロードマット3mm		試験方法
		社内規格値	測定値	社内規格値	測定値	
引張強さ (N/cm)	長手	300以上	380	80以上	136	JIS A 6013に準拠する (改質アスファルトルーフィング)
	幅		370		105	
伸び率 (%)	長手	70以上	119	15以上	66	
	幅		98		69	
引裂強さ (N)	長手	80以上	120	20以上	45	
	幅		112		40	
耐折曲げ性		-15度で、き裂が生じないこと	き裂なし	-15度で、き裂が生じないこと	き裂なし	
耐アルカリ性		飽和水酸化カルシウム溶液に15日間、浸せきして異常のないこと	異常なし	飽和水酸化カルシウム溶液に15日間、浸せきして異常のないこと	異常なし	JIS K5600-6-1
耐塩水性		3%塩化ナトリウムに15日間、浸せきして異常のないこと	異常なし	3%塩化ナトリウムに15日間、浸せきして異常のないこと	異常なし	

施工及び取り扱上の留意点

- ①路面を清掃する。送風機、ホウキ、デッキブラシ等でほこり、砂、泥を丁寧に取り除く。
- ②路面を乾燥させる。雨上がり、常時日かげ、早朝等の湿った路面はバーナーで水分を除く。
- ③路面を暖める。冬季の冷え切った路面はバーナーであぶり、手で触って暖かく感じる程度に暖める。その際、UKロードマットの自着層に直火をあてない。接着力が落ちる。
- ④沈下部やポットホールを常温合材等埋めた箇所は一度交通開放する。その間に油分や水分の揮発、穴埋め材料の適度な硬化を促進させ、後日貼り付け作業を行う。
- ⑤段差修正等の目的で施工された各種薄層舗装上の貼り付けは避ける。薄層舗装の損傷により水分が浸潤する場合がある。
- ⑥劣化した排水性舗装等で、貼り付け部分全面の骨材が明らかに動いているところでは、強力な自着層が骨材をはがす場合がある。既存舗装面に動揺がないことを確認してから設置する。
- ⑦亀甲状クラック上に施工する場合は、周囲の舗装健全部を最低10cm含んで貼り付ける。
- ⑧UKロードマットを重ね貼りする場合は、最低10cmの重ねしろを設け、プレートコンパクター等でマット同士を密着させる。
- ⑨夏季炎天下に使用前のマットを長時間放置しない。裏面のアスファルト層が粘り、はく離紙がはがれにくくなる。この時、コールドスプレーや冷えたペットボトルなどで裏面のはく離紙を冷やす。
- ⑩UKロードマットを小片に切り分ける場合は、裏面の紙の上から大型カッターに油類を付けて切る。